

### 3. 活性化のビジョン

活性化の取り組みの先には、栄町にとって最も大切な財産である、「人」と「地域」が元気になっている姿を描くことができます。人の絆や地域の力、都市の基盤・機能を「再生」し、地域・町民・事業者・行政などがそれぞれ「自立」して力を発揮して、互いに「協働」して大きな力を生み出すことで、地域に活力が生まれ、人と地域が元気になり、それがさらに力強い活力を生み出し、栄町の未来が拓かれていく、そんな姿です。

このようなことから、栄町の地域活性化のビジョンを次のとおり定め、農業、観光・商工業、暮らし、地域コミュニティの各分野についてビジョンと目標を設定します。

**人が元気 地域が元気**

**活力あふれるまち さかえ**

～「再生」「自立」「協働」によって  
まちの未来を拓く～

[地域活性化の実現に向けた各主体の取り組み]



## 〈農業のビジョン〉

基幹産業である農業が再生し、付加価値を高め、それを牽引役として、地域産業全体が活性化している

### 目 標

- 耕作放棄地を減らす  
遊休耕作地面積 19ha → 0ha
- 農業の担い手を増やす  
農業法人団体数 1団体 → 5団体
- 直売所及び新規販売ルートの上高を増やす  
売上高 242百万円 → 360百万円

## 〈観光・商工業のビジョン〉

地域資源の魅力が発揮され、多くの人々が栄町に立ち寄り、様々な体験や交流をしている

### 目 標

- 栄町を訪れる人の数を増やす  
房総のむら年間利用者数 28万人 → 50万人
- 観光と連携した商工業を推進する  
元気再生協議会（仮称）の設置
- 新しい観光の魅力を充実させる  
河川広場の年間利用者 2万人 → 3万人

## 〈暮らしのビジョン〉

町民の暮らしを支えるひとにやさしい、公共交通、公園などの生活支援基盤が充実し、誰もが「住み続けたい町」「暮らしてみたい町」となっている

### 目 標

- 交通弱者が安心・安全に移動している  
公共交通の満足度 10.4% → 20%以上
- 町民の主体的な健康づくりを推進する  
要介護・要支援該当者数 推計数からの10%減

## 〈地域コミュニティのビジョン〉

地域の中で人がつながり、「お互い様」の精神で助け合いが行われるとともに、地域で地域のことを考え行動できるコミュニティとなっている

### 目 標

- 生活支援サービスの起業を支援する  
起業数 15人 → 20人
- 町民と行政の役割明確化  
学区別協働事業立ち上げ数 1学区 → 6学区